

一般競争入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 7 年 6 月 5 日

総合病院 浦河赤十字病院

契約行為者 院長 大柏 秀樹

1 競争に付する事項（詳細は仕様書のとおり）

- (1) 件名
検査室 筋電図・誘発電位検査装置 購入
- (2) 物品・数量
筋電図・誘発電位検査装置 一式
- (3) 仕様
仕様書のとおり
- (4) 設置場所
検査室
- (5) 納入期限
令和 7 年 7 月 31 日

2 競争参加資格

- (1) 競争入札に参加することができない者
 - ア 当該契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者
 - イ 次の各号の一に該当する事実があった後 2 年を経過しない者
 - (ア) 契約の履行に当たり、故意に工事若しくは物品の製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者
 - (イ) 競争入札又はせり売りにおいて、その公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格の成立を害し、若しくは不正の利益を得るために連合した者
 - (ウ) 落札者が契約を結ぶこと又は契約者が契約を履行することを妨げた者
 - (エ) 監督又は実施にあたり、職員の職務の執行を妨げた者
 - (オ) 正当な理由がなくて、契約を履行しなかった者
 - (カ) 契約に関する調査にあたり虚偽の申し出をした者
 - (キ) 前各号の一に該当する事実があった後 2 年を経過しない者を、契約の履行に当たり、代理人、支配人、その他の使用人として使用した者
- (2) 浦河赤十字病院入札参加資格者の資格等級において、「物品の販売」の「219（医療機器）」の C 等級以上であること
- (3) 申請書及び資料の提出期限の日から開札までの期間に、事業実施施設所在都道府県の物品購入に係る指名停止等の措置を受けていないこと
- (4) 契約機器の緊急時に早急に対応が可能であること。

3 入札手続等

(1) 担当部署

〒057-0007 所在地 浦河郡浦河町東町ちのみ1丁目2番1号
施設名 総合病院浦河赤十字病院
担当者 事務部会計課 課長 阿部・調度係 大城
電 話 0146-22-5111（内線 582）

(2) 入札説明書配布期間、場所

期間 令和7年6月5日（木）～6月12日（木）（但し、土日祝日を除く）
場所 3（1）に同じ

(3) 一般競争入札参加資格確認申請書（以下「申請書」という）及び一般競争入札参加資格審査資料（以下「資料」という）の提出期間、場所

期間 令和7年6月5日（木）～6月12日（木）（但し、土日祝日を除く）
9：00～16：00 まで
場所 3（1）に同じ、持参すること

(4) 入札及び開札の日時、場所並びに入札書の提出方法

日 時 令和7年6月13日（金） 11：00 から
所在地 浦河郡浦河町東町ちのみ1丁目2番1号
施設名 総合病院浦河赤十字病院 北館2階会議室1
入札書は上記日時、場所において持参により提出するものとする

4 その他

(1) 入札保証金及び契約履行保証

- ア 入札保証金 免除する
- イ 契約履行保証 免除する

(2) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書又は資料に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする

(3) 落札者の決定方法 予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行ったものを落札者とする

(4) 手続きにおける交渉の有無 無

(5) 契約書の作成の要否 否

(6) 関連情報を入手するための照会窓口 上記3（1）に同じ

(7) 競争参加資格の認定を受けていない者の参加 上記2に掲げる競争参加資格の認定を受けていない者は上記3（3）により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札時において、競争入札参加資格審査の認定を受け、且つ、一般競争参加資格の確認を受けていなければならない

(8) 一般競争入札に参加する資格があると確認された者に、経営、資産、信用の状況の変動により契約の履行がなされないおそれがあると認められる事態が発生したときは、当該資格の確認を取り消すことがある。

(9) 詳細は入札説明書による

応札仕様	
1	ハードウェア
1-1	測定チャンネル数は2 (4) チャンネル有する。
1-2	入力インピーダンスは同相モードで1000M Ω 以上ある。
1-3	1 μ V/DIV $\sim$ 10mV/DIV の範囲で感度の設定ができる。
1-4	弁別比は112dB以上である。
1-5	ノイズレベルは0. 6 μ Vrms以下である。
1-6	本体及び入力箱で電極インピーダンスチェックができる。
1-7	入力箱は、外付けタイプでアームに装着されている。
2	データ解析
2-1	分解能が18bit以上である。
2-2	サンプリングタイムは最高10 μ secである。
2-3	解析時間は0.1msec $\sim$ 1.0sec/DIV の範囲で設定できる。
2-4	解析時間は各チャンネル、独立に設定できる。
2-5	加算回数は1 $\sim$ 9999回まで設定できる。
2-6	600秒の連続波形および9999本のスweep波形を保存できる。
2-7	加算はチャンネルあたり26ステージ行うことができ、保存できる。
3	波形表示部
3-1	画面の表示解像度はフルHD(1920 $\times$ 1080ドット)である。
3-2	加算波形の表示数はチャンネルあたり最大26本以上表示できる。
4	刺激装置
4-1	刺激周期を0.1 $\sim$ 100Hzの範囲で設定できる。
4-2	電気刺激装置は0 $\sim$ 100mAの範囲で設定できる。
4-3	音刺激装置はクリック、トーンパーストの出力ができる。
4-4	視覚刺激としてLEDゴーグル刺激が行える。
4-5	パターンリバーサルによる視覚刺激が行える。
4-6	4-1 $\sim$ 4-5までの刺激装置は本体に内蔵されている。
4-7	ソマトコントロールボックスは先端刺激部が可変できる。(RY-960B選択時)
4-8	ソマトコントロールボックスは小型軽量(本体全長90mm以下)である。(RY-230B選択時)
5	データ保存
5-1	測定データはHDDおよびSDカードに保存できる。
6	データの記録
6-1	画面のハードコピーを記録できる。
6-2	レポートを作成できる。
6-3	プリンタはインクジェット方式である。
7	システム
7-1	ノートパソコンをベースとした機器である。
7-2	Windows10の日本語OS上で動く。

応札仕様	
7-3	患者情報やコメントは日本語入力ができる。
8	検査メニュー
8-1	検査メニュー(測定タブ)は組み替えて編集が行える。
9	検査可能な項目
9-1	体性感覚誘発電位検査のうち以下の検査が可能である。 SEP (体性感覚誘発電位) SSEP (短潜時体性感覚誘発電位) ECG-SSEP (心電図トリガ短潜時体性感覚誘発電位) ESCP (脊髄誘発電位)
9-2	聴覚誘発電位検査のうち以下の検査が可能である。 ABR (聴性脳幹反応) VEMP (前庭誘発電位) MLR (中間潜時反応) SVR (頭頂部緩反応) EcochG (蝸電図)
9-3	視覚誘発電位検査のうち以下の検査が可能である。 PR-VEP (パターニリバーサル視覚誘発電位) LED-VEP (LED視覚誘発電位) EXT-VEP (外部刺激視覚誘発電位) ERG (網膜電位図) EOG (眼球電位図)
9-4	筋電図検査のうち以下の検査が可能である。 EMG (筋電図、MUP解析、TURN/AMP解析) SFEMG (シングルファイバー筋電図) MacroEMG (マクロ筋電図)
9-5	神経伝導検査のうち以下の検査が可能である。 NCS (神経伝導検査) MCS (運動神経伝導検査) SCS (感覚神経伝導検査) Rep. Stim (反復刺激検査) F-wave (F波検査) H-reflex (H反射) Blink Reflex (瞬目反射) ENoG (顔面神経検査)
9-6	自律神経系検査のうち以下の検査が可能である。 SSR (皮膚電気反射) Micro-N (マイクロニューログラム)
9-7	事象関連電位のうち以下の検査が可能である。 P-300 (事象関連電位) MMN (ミスマッチ陰性電位) CNV (随伴性陰性電位) MRCP (運動準備電位)
10	体性感覚誘発電位検査
10-1	マークの設定を行うことができ、潜時、振幅などを計測できる。
10-2	SSEPの検査において、正常値をバーグラフ表示し確認できる。
11	聴性誘発電位検査
11-1	マークの設定を行うことができ、潜時、振幅などを計測できる。
11-2	ABR検査用の中継ケーブルがある。
11-3	自動測定を行える。
11-4	I-Lカーブを作成できる。
11-5	オートマーク機能を有する。
12	視覚誘発電位検査
12-1	マークの設定を行うことができ、潜時、振幅などを計測できる。
13	筋電図検査
13-1	最大600秒の生波形を99回分保存できる。
13-2	整流、積分を行うことができる。

入札仕様書

応札仕様	
14	神経伝導検査
14-1	マークの設定を行うことができ、潜時、振幅、伝導速度の計測ができる。
14-2	MCS、SCS、F-waveにおいて、スーパーインポーズ波形を同時に表示できる。
14-3	MCS、SCS、F-wave、Rep. Stimにおいてオートマーク機能を有する。
14-4	MCS、SCS、F-waveは一つのメニューの中で神経名、左右を自由に切り替えて測定できる。神経名、左右、検査項目はリスト化してプロトコルを登録できる。
14-5	Rep. Stimにおいて検査シーケンスを登録し、自動測定ができる。
14-6	糖尿病神経障害専用レポートの出力ができる。
14-7	レポートに超音波画像を取り込み表示できる。
14-8	NCS examination GuideによりMCS、SCS、F-waveの操作方法を表示できる。
14-9	MCS、SCS、F-waveにおいて基線の動揺や刺激のアーチファクトをiSAFにより除去可能である。(NCS2使用時のみ)
15	波形編集機能
15-1	測定波形のコピー/ペーストできる。
15-2	波形の加算、減算演算を行うことができる。
15-3	リアルタイムでスムージング処理を行える。
16	その他
16-1	ネットワーク機能を有する。
16-2	それぞれの検査について、原理、測定方法、測定部位を参照できる電子ファイルを有し、検査中に参照できる。